

マーケットの動き（2020年3月2日～3月6日）

先週の国内株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大と国際協調の動き、FRB（米連邦準備制度理事会）の緊急利下げ、米国次期大統領選挙への懸念後退などの材料から、乱高下する展開となり、大幅に下落して終わりました。

業種別では、精密機器、その他製品、小売業が騰落率上位に挙がりましたが、鉄鋼、保険業、銀行業が騰落率下位に挙がりました。

投資環境見通し（2020年3月）

国内株式相場は当面は神経質な展開となるが、反転の可能性も

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて投資家のリスク回避の動きが広がっています。国内株式相場は当面、新型コロナウイルスを巡る報道に神経質な展開が予想されます。新型コロナウイルスの実体経済に対する影響は、今後発表される経済指標で確認することとなりますが、感染拡大の鈍化とともに、世界経済に対する影響が確認されれば、反転することも見込まれます。

	3月6日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,471.46	▲2.61%	▲15.29%	▲4.27%	▲8.90%
日経平均株価	20,749.75	▲1.86%	▲13.08%	▲2.12%	▲3.92%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

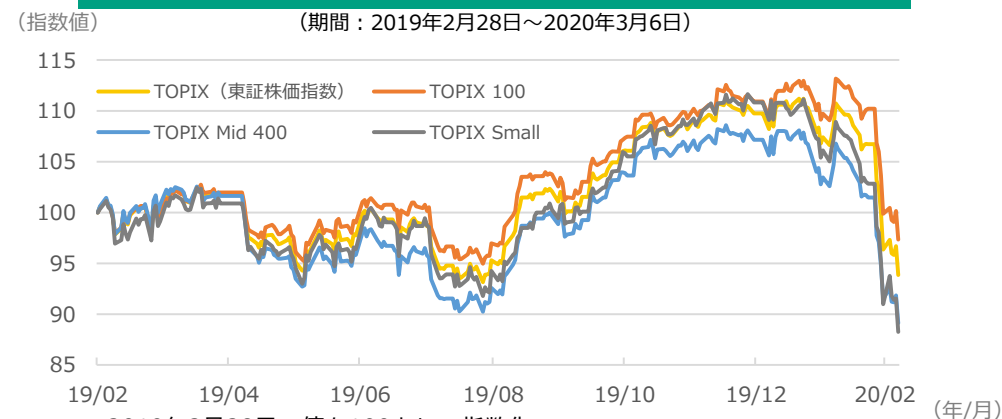
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202003_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようにお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2019年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成